

## 次代を担う学生に海運について紹介 ～東京海洋大オープンキャンパスへの協力～

日本船主協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

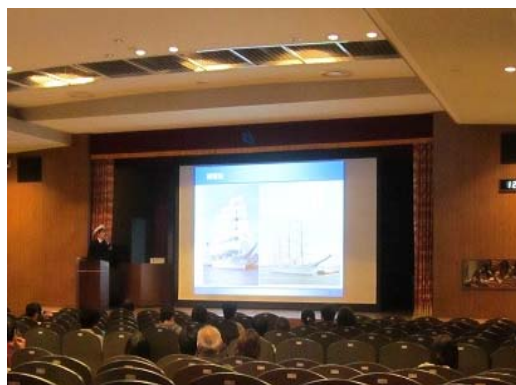
今般、その一環として、東京海洋大海洋工学部のオープンキャンパスに協力した。

(写真はオープンキャンパスの当協会相談ブースの様子)



2014年11月9日、東京海洋大学海洋工学部は、高校生とその保護者を対象に今年度2回目となるオープンキャンパスを開催、学部・入試説明会や同大学所有船の「やよい」の体験航海及びキャンパスツアー等の学内施設見学会が行われ、約200名が参加した。

当協会はキャリアコンパス～将来の仕事を見よう～という題目で海運産業や海技者の仕事について講演する機会を得たことから、東京海洋大学のOBでもある日本郵船船長 久保本 公氏が講演を行った。



久保本船長 講演の様子



高校生の質問に答える久保本船長

また当日は同学部が卒業後の進路等について相談を受けるべく設置した「相談コーナー」に当協会のブースが設けられ、現役船長の視点から久保本船長が相談に応じた。

ブースを訪れた高校生や保護者からは、海技者のキャリアパス、休暇、待遇、仕事で必要とされる英語力等について幅広い質問が寄せられた。また女子学生からは、女性船員の働く環境等について質問が寄せられ、久保本船長が親身に対応した。

日本船主協会では、今後も船員教育機関と連携しつつ、優秀な日本人海技者確保に向けた活動を継続していく。